

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

演題 「見て 触って 聴いて 分かる、音声科学」

演者 上智大学理工学部教授 荒井 隆行 氏

日時 平成30年10月3日(水曜日) 17時～19時

場所 7号館2階 第3講義室

講演要旨

音声科学の基礎を、模型を用いたデモンストレーションなどを交えながら学びます。まず母音についてその生成過程を音源と声道フィルタに分けて考え、それぞれの基本について詳しく考察します。そして母音の韻質の違いは声道の形状によることを音響理論や物理模型を用いて確認します。また、子音についての生成過程も考えると同時に、声道の共鳴特性の変化が子音の知覚を生むことなど、子音のための音響的手がかりを概観し音声知覚の本質にも迫ります。

略歴

1989年上智大学理工学部卒業、

1994年同大学大学院理工学研究科電気・電子工学専攻(博士後期課程)修了。

同年上智大学助手。

1992-1993年および1995-1996年 Oregon Graduate Institute of Science and Technology (USA)

客員研究員。

1997-1998年 California 大学 Berkeley 校付属研究機関

International Computer Science Institute (USA) 客員研究員。

2003-2004年 Massachusetts Institute of Technology (USA) 客員研究員。

1998年上智大学専任講師、現在 同大学教授。

音響音声学、音声科学、音声言語処理、音声コミュニケーションなどの研究に従事。

監訳「音声の音響分析」、「音声・聴覚のための信号とシステム」、「音入門」、「音声知覚の基礎」。

アメリカ音響学会、日本音響学会等各会員。2001年頃から声道模型の音響教育に力を入れ始め、2005年からは同テーマで科学研究費補助金による助成を受ける。博士(工学)。

連絡先： 顎顔面補綴学分野担当者 服部 麻里子〔内線 5556〕